

★ 薬剤師 新人研修プログラム ★

【 目的 】

新たに入職した薬剤師が、当院で行っている薬剤師業務を幅広く経験することで臨床に即した知識・技能をバランスよく習得し、即戦力となるよう育成する。

【 目標 】

- ①新人指導用チェックリスト項目の達成を目指す
- ②休日当番が一人でこなせるよう業務内容を修得する
- ③研修会などに積極的に参加し、認定薬剤師を目指す



【スケジュール予定】 状況によって変動します

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
目標	・社会人としての自覚をもって行動する ・医療安全を常に意識して業務を行う ・調剤業務を一通り行う ・他部署を見学し、業務内容などを知る			・単独で調剤業務を行う ・病棟業務を一通り行う ・様々な症例を経験する ・多職種連携の実際を知る			・単独で休日当番を行う					
内容	←オリエンテーション（全職種 2 日間＋看護部と合同でも開催） 内服・外用調剤 注射調剤 混注業務 指導者とローテーション兼務 各病棟担当と病棟業務 監査業務 他部署見学 到達度確認 継続（毒薬・麻薬含む） 継続（毒薬・麻薬含む） 継続（抗がん剤含む※） 単独ローテーション加入 継続 継続（麻薬等含む） 外来投薬・服薬指導 土曜日出勤 休日出勤 チーム医療見学 到達度確認 継続 継続 継続 継続 継続 継続 継続 継続 到達度確認 その他、製剤などあればその都度説明・実施します ※年齢・性別等考慮して行います。 毎日：朝礼（簡単な連絡事項など） 毎週火曜日：薬局ミーティング（朝）及び勉強会（昼） 月 2 回（第一・第三火曜予定）：薬局内連絡会・症例検討会											

※2年目より病棟主担当及び新人・実習生指導開始。2～3年目より各種院内委員会へ所属。

新人教育計画（具体的内容）

1) 調剤業務

- ・処方箋について
種類・流れ
- ・調剤について
処方箋の見方
錠剤、散剤、水剤、1包化、薬袋、麻薬
ハイリスク薬の薬歴確認
- ・監査について
医薬品の適正使用
(禁忌、相互作用、副作用、薬用量の適正など)
- ・薬剤情報提供の必要性
- ・外来での薬の交付
- ・発注について



2) 注射業務

- ・注射処方箋について
種類・流れ
- ・注射調剤について
注射処方箋の見方
個別払い出し、調剤の流れ
IVH 混注
- ・監査について
医薬品の適正使用
(配合変化、副作用、TDMなど)
- ・特定抗菌薬の使用届出制
- ・発注について



3) 薬剤管理指導業務

- ・持参薬鑑別
- ・服薬指導の流れ
- ・服薬指導について
初回面談
(患者情報、薬歴など情報収集など)
指導の方法
(薬物治療の必要性や服用・使用方法など)
情報のフィードバック
患者に対する接遇
点数算定法
指導録の入力方法
- ・外来投薬について



4) 病棟薬剤業務

- ・病棟業務の概要、流れ
- ・基本的な業務
- ・日誌の書き方
- ・病棟別業務（各担当者による説明）



5) オーダリング

- ・オーダ入力から発行までの流れ
- ・定期薬発行方法
- ・入力方法
- ・ロック解除や修正方法



6) 製剤業務

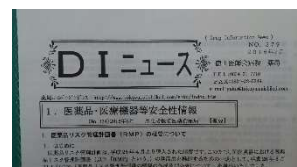
- ・院内製剤の種類と適応
- ・院内製剤の調製の仕方

7) 安全管理

- ・インシデント、アクシデントレポート
- ・調剤過誤の防止策

8) 医薬品情報管理業務

- ・添付文書、インタビューフォームの見方
- ・副作用情報収集
- ・DI ニュース
- ・医薬品集



9) 医薬品管理業務

- ・麻薬、毒薬、向精神薬の保管・管理方法
- ・血液製剤の保管、管理方法
- ・薬事委員会の役割及び採用薬の選定方法
(臨時薬・医薬品使用申請書)
- ・在庫管理システム



2010.9.14 作成

2016.01 改正

2017.06 改正

2019.12 改正

入職後の流れ

入社式後は新入職員全員対象のオリエンテーションで病院の概要や医療安全、院内感染対策・個人情報保護等の研修を受けます。その後薬局での実務研修を行いつつ、看護部と合同での研修も行います。



入社式の様子

実務研修

薬局内で実務を行いつつ業務内容を順次説明していきます。

入職後 1 年間は病院薬剤師としての基礎と業務を着実に身に着けることを目標とし、基礎的な調剤業務の他、オーダリングの使い方や病棟業務などを実践で学びます。

不明な点などがあれば先輩薬剤師が常に相談を受け付けますので遠慮なく質問してください。

その他の研修など

ほぼ毎月全職員を対象とした様々な研修会が開催されている他、毎週火曜日の昼休みを利用して常勤医と合同で薬局勉強会を行っています。



院内感染講習会



学会への参加



薬局勉強会



BLS（一次救急）講習会

日々の業務については毎朝ミーティングを開催して必要な情報を共有しており、月 2 回はより詳細な情報共有ができるような時間（薬局内連絡会・症例検討会）を開催しています。

また、周南地域や県の薬剤師会主催の勉強会等への積極的な参加も推奨しています。希望があれば国内各所で開催される学会への参加や発表も可能です。

各種委員会など（多職種連携を含めて）

薬剤師が中心となる薬事委員会をはじめ、院内にある各種委員会にも所属しています。その他にも NST、ICT、排尿ケアチームや JMAT もあり、JMAT は熊本地震の際に出動しました。



JMAT



ICT ミーティング